

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会(第1回)

日時：平成29年5月10日(水) 10:00～12:00

場所：名古屋能楽堂会議室

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) これまでの経緯について
 - (2) 今後の想定スケジュールについて
 - (3) 基本計画書について
 - (4) 石垣調査について
- 4 その他
- 5 閉会

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会（第1回） 名簿

日時：平成29年5月10日（水）10:00～12:00

場所：名古屋能楽堂会議室

（敬称略）

■ 構成員

氏名	専門分野	所属等	出欠
小野 徹郎	建築学	名古屋工業大学名誉教授	出席
片岡 靖夫	建築学	中部大学名誉教授	出席
川地 正数	建築生産	川地建築設計室主宰	出席
瀬口 哲夫	近代建築史、まちづくり	名古屋市立大学名誉教授	出席
西形 達明	地盤工学	関西大学名誉教授	欠席
麓 和善	建築史、文化財保存修理	名古屋工業大学大学院教授	出席
古阪 秀三	建築生産	立命館大学客員教授	出席
三浦 正幸	日本建築史、文化財学	広島大学大学院教授	出席

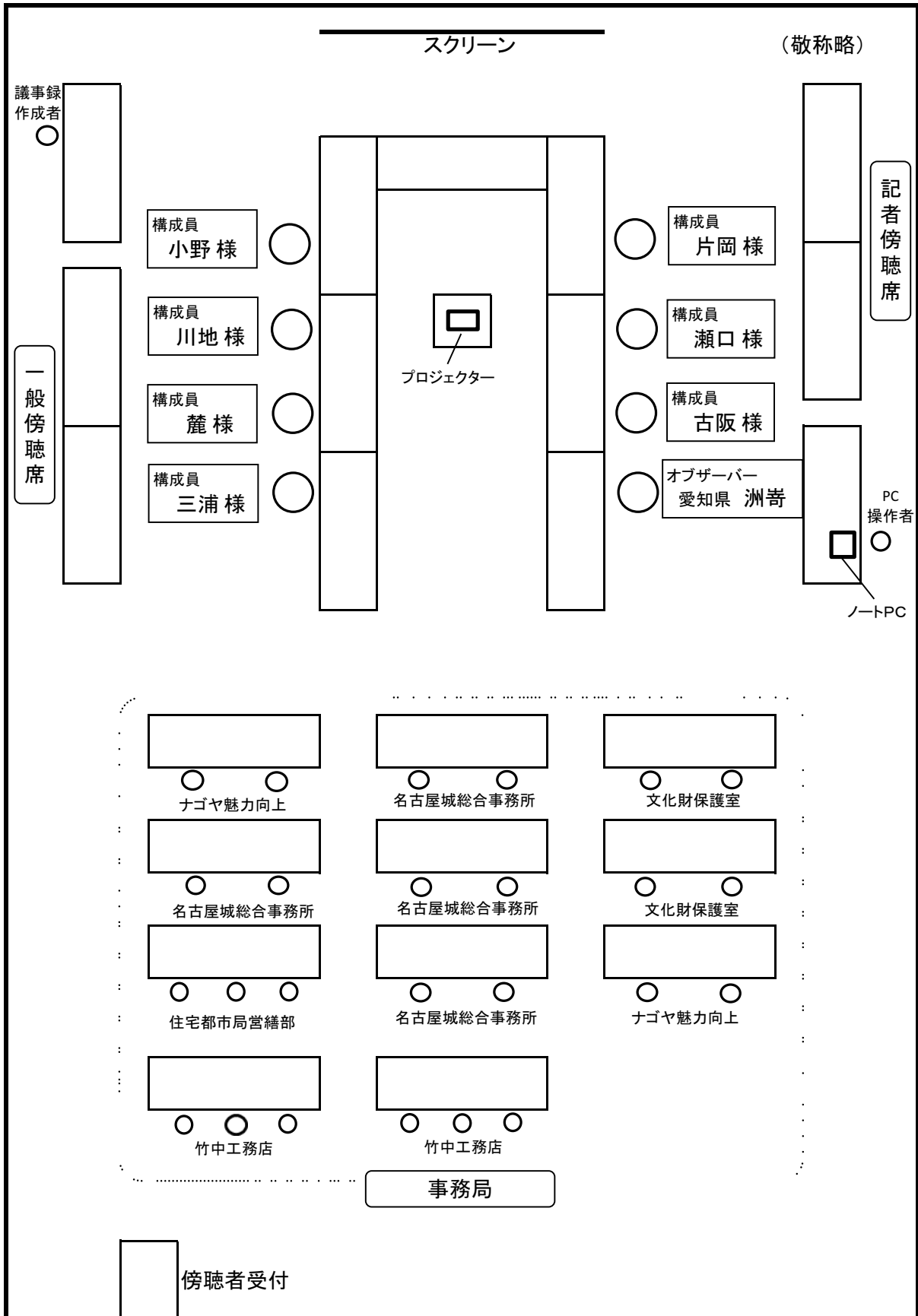
・ オブザーバー

氏名	所属等
洲崎 和宏	愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室室長補佐

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会(第1回)

座席表

平成29年5月10日(水)
10:00~
名古屋能楽堂会議室



特別史跡名古屋城跡保存活用計画における天守閣の位置づけについて
＜第5回保存活用計画検討会（平成29年2月21日）提出資料＞

第8章 整備（抜粋）

8-3 整備の方法

8-3-1 本丸地区

(2) 活用のための整備

■失われた建造物等の復元整備等

②天守閣木造復元整備の検討

- ・現在の天守閣は、再建から半世紀以上が経過し、昭和30年代当時の建築技術や戦災焼失後の再建の記録のある建造物として一定の価値を有すると考えられる。
- ・しかし、現在の天守閣は、耐震性能が現行の基準を著しく満たしていないことから、安全性の確保が喫緊の課題となっている。その他にもコンクリートの中性化が進んでいることに伴い耐久性の低下が懸念されていることや、経年による設備の老朽化など様々な問題が顕在化しており、天守台石垣についても、孕みや戦災による石材の劣化などあり、特別史跡としての石垣の保存・修復を行っていく必要がある。
- ・また、天守については、金城温古録等の文献や絵図に加えて昭和実測図やガラス乾板に詳細に記録されており、他には例を見ない木造による史実に忠実な復元が可能である。史実に忠実な木造復元を行うことは、現在復元整備中の本丸御殿と相まって特別史跡名古屋城跡の本質的価値を一層高めるとともに、文化観光都市としての魅力向上、次世代への伝統技術や歴史の伝承など、多角的な側面から意義が認められる。
- ・昨今開催されたタウンミーティングや市民報告会等により、天守木造復元にかかる市民の機運も徐々に高まりつつあり、また、市民2万人を対象とした名古屋城天守閣の整備に係るアンケート調査では、約6割が木造復元に賛成との結果を得ている。
- ・顕在化している各課題の克服を急ぎ、特別史跡名古屋城跡の本質的価値をさらに高めるため、天守木造復元を目指し検討を進める。

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議天守閣部会開催要綱

(名称)

第 1条 本部会は、特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議天守閣部会（以下「部会」という。）と称する。

(目的)

第 2条 部会は、次に掲げる事項について専門的見地から意見を聴取することを目的として開催する。

(1) 名古屋城天守閣の整備に関すること。

(構成)

第 3条 部会は、学識経験者のうちから市長が指名する者により構成する。

2 市長は専門的事項の検討のため、前項の構成員以外の学識経験者に検討事項を明示したうえで、出席を求めることができる。

(座長)

第 4条 部会の座長および副座長は、それぞれ構成員の互選により決定する。

(会議)

第 5条 会議は、市長がこれを招集する。

2 会議は原則として公開する。ただし、座長が必要と認めるときは、非公開とすることができる。

(現場視察)

第 6条 市長は、部会の検討事項について、現場視察を開催することができる。

(ワーキンググループ)

第 7条 市長は、ワーキンググループを開催し、部会の検討事項のうち特定の事項の整理、情報交換等を行わせることができる。

(謝金)

第 8条 第 3条、第 6条及び第 7条により会議等に参加した者には、会議等への出席 1回につき12,600円の謝金を支給することができる。

(事務局)

第 9条 部会の事務は、観光文化交流局名古屋城総合事務所が処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は名古屋城総合事務所長が定める。

附 則

この要綱は、平成29年 4月18日から施行する。

名古屋城天守閣整備事業 これまでの経緯

平成27年度

11月29日 第1回意見聴取会

- ① 技術提案・交渉方式の適用の可否
- ② 技術提案範囲・項目・評価基準の妥当性
- ③ 参考額の設定方法の妥当性
- ④ 交渉手続き

12月 2日 公募型プロポーザル実施公告

2月26日 技術提案書の提出

3月20日 第2回意見聴取会

- ① 技術提案書の概要説明、要求水準書・必須事項の確認
- ② ヒアリング、審査、評価方法の確認

3月27日 第3回意見聴取会

- ① 事業者ヒアリング、質疑応答
- ② 技術提案の審査、採点

3月30日 優先交渉権者の選定（株式会社 竹中工務店 名古屋支店）

平成28年度

5月 市民2万人アンケート実施 市民向け報告会開催

6月 6月定例会において予算案継続審議

10月 9月定例会において予算案継続審議

11月24日 第4回意見聴取会

- ① 天守閣整備事業に係る工程表について

12月 11月定例会において予算案継続審議

2月 9日 第5回意見聴取会

- ① 天守閣整備事業に係る工程表について

3月 2月定例会において予算案可決

- ① 基本設計
- ② 石垣調査
- ③ 史跡外仮設工事

平成29年度

5月 9日 基本協定の締結

基本設計、石垣調査の契約締結

平成 34 年 12 月 天守閣竣工の工程案（詳細）

	平成28年度			平成29年度												平成30年度												平成31年度												平成32年度												平成33年度												平成34年度												平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																												
設計	設計				基本設計①						②						③						④						実施設計						⑤																																												
	積算	議			議						議						議						議						議																																																		
	調査				史実調査・地盤・ケーソン						史実反映確認																																																																				
	関係団体等打合せ(復元検討委員会)				協						協						協						協						文化審議会																																																		
	関係団体等打合せ(復元検討会)				協						協						協						協																																																								
	行政手続き				随時協議						事前協議 審査会																																																																				
施工技術検討				BIM・モックアップ等(設計段階)												BIM・モックアップ等(工事施工段階)												調査・確認(石垣工事段階)																																																			
調査・実験等	石垣調査	石垣調査			石垣詳細調査																																				大天守						小天守																																
	現天守閣調査				調査																																																																										
	構造実験				実験																																																																										
	シミュレーション等				2						3																																																																				
工事施工	施工技術検討				会議体運営																																																																										
	仮設	備			仮設事務所等						史跡内準備												栈橋・構台等																		解体																																						
	素屋根				計画						鉄骨製作						壁						屋根						解体																																																		
	見学施設																												見学施設																																																		
	解体				EV						現天守閣						▼着工												▼竣工																																																		
	木造復元工事																												天守閣復元																																																		
	木工事				手配						加工												木工事																																																								
	左官工事				乾燥												荒壁土 調達												土拵え・練返し																																																		
	石垣工事																石垣調査(地層内部・外部取外し調査)						地層内部・外部補修												石垣外部修理						石材強化・補修																																						
	売店建替																												売店建替																																																		
	仮収蔵庫				計画						準備						工事																																																														
	木材倉庫				計画						準備						工事																																																														
木材加工場				計画						準備						工事																																																															

注) 基本設計期間の①は石垣詳細調査の準備期間、②は石垣詳細調査を基本設計に反映させる期間
 実施設計期間の③は石垣詳細調査を実施設計に反映させる期間、④は文化庁の協議結果を実施設計に反映させる期間
 ⑤は現天守閣解体後の石垣調査（地層内部・外部取外し、調査）結果を必要に応じて実施設計に反映させる期間

名古屋城天守台石垣の調査（案）

■ 「石垣調査」（基本調査）

予定している調査項目：A～E

別添資料「石垣カルテ（案）」 「石垣調査範囲」 「調査予定位置図」

A：石垣測量

- (1) 石垣立面図作成
- (2) 石垣縦横断図作成
- (3) 石垣平面図作成
- (4) 石垣三次元点群データ作成

B：石垣現況調査

- (1) 石垣カルテ作成（別添資料「石垣カルテ（案）」 「石垣調査範囲」）
- (2) 石材調査

C：発掘調査（別添資料「調査予定位置図」）

- (1) 仮設構台等に関わる調査
- (2) 石垣根石に関わる調査

D：地盤調査（別添資料「調査予定位置図」）

- (1) ボーリング、平板載荷試験

E：天守台石垣にかかる史実調査

- (1) 石垣の史実調査
- (2) 現天守閣再建当時の石垣整備調査

A：石垣測量

(1) 石垣立面図作成

- ・ 工事前の石垣の状況を記録するため、対象の石垣について測量を行い、石垣の立面図を作成する。
- ・ 測量は一面ごとを単位とし、築石に対して番号を付与し、元の位置が確認できるようにする。情報の取得はカラーとし、障害物（草木・地被類・土の付着等）の除去及び清掃を行い、石垣の状況が明確に記録されるよう努める。
- ・ 図面はデジタル形式で測定・描画された、線形の3次元データとする。測定描画は、各石の重なり状況に留意し、積石の輪郭線、稜線（主要な形状変化点）、間詰石、加工痕、亀裂・剥離状況、刻印および等高線等について描画する。表現事項は、積石の輪郭線、稜線（主要な形状変化点）、間詰石、加工痕、亀裂・剥離状況、刻印および等高線等とする。

(2) 石垣縦横断面図作成

立面図を作成した石垣について、石垣の縦断面図および横断面図を作成する。縦断面図及び横断面図ともに基本的に1.0m毎に断面図を作成する。

(3) 石垣平面図作成

対象の石垣について測量を行い、石垣の平面図を作成する。

(4) 石垣三次元点群データ作成

- ・ 対象の石垣について、三次元の点群データを作成する。

B：石垣現況調査

(1) 石垣カルテ作成

対象の石垣について、孕み出し領域、目地の開口および段差、築石や間詰め石の形状や割れ及びや抜け落ち、築石等の風化や劣化および焼け石、明瞭な積み直し跡、その他石垣の安定性に関する事項等について、目視による調査を行う。

調査結果を踏まえ、石垣カルテの作成を行う。カルテの仕様については、『石垣整備のてびき』の基本調査に準じるものとし、整理の方法等については、監督員の指示に従うものとする。また、石材調査、石材劣化度調査の成果についても加えるものとする。

(2) 石材調査

対象の石垣について、石材一石毎の刻印・墨書の有無、矢穴の有無と大きさ等、表面加工の種類、二次利用の確認を行う。

C：発掘調査

(1) 仮設構台等に関わる調査

名古屋城天守閣整備事業に伴って設置される仮設構台等による遺構面への影響を確認するために試掘溝（トレンチ）等を設け調査を行う。

- ・ 調査に伴って、平面図、断面図、個別図等の作成を行う。

(2) 石垣根石に関わる調査

天守台石垣の維持保存にかかる設計の際に必要な根石部分の状況について、調査・記録を行う。

- ・ 調査に伴って、平面図、断面図、個別図等の作成を行う。
- ・ 掘削を行って露出した石垣面について、立面図、縦断面図及び横断面図を作成する。

D：地盤調査

(1) ボーリング調査、平板載荷試験

天守台周囲内堀内、本丸、御深井丸、天守閣内で、ボーリング調査、平板載荷試験を行う。

E：天守台石垣にかかる史実調査

(1) 石垣の史実調査

慶長の創建時、宝暦の大修理時、その他修理の記録の調査を行う。

(2) 現天守閣再建当時の石垣整備調査

地階レベルで内外の石が解体されている施工写真、施工記録の調査を行う。

■ 「石垣詳細調査」

※石垣調査（基本調査）の結果を踏まえて、石垣を保全していくために行う
詳細調査

予定している調査項目：F～H

F：石垣現況調査

- (1) レーダー探査
- (2) 石垣の修理状況確認調査（穴蔵部）
- (3) 石材劣化度調査

G：石垣安定性評価等

- (1) 安定性評価
- (2) 保存・修復方針検討
- (3) 追加調査（調査結果や検討状況を踏まえて行う調査・実験等）

H：その他調査・検討

- (1) 石材調査（刻印・墨書、矢穴、産地等）
- (2) 穴蔵部分の埋蔵物調査
- (3) 石垣の当初勾配調査

F：石垣現況調査

(1) レーダー探査

対象の石垣について、表面からのレーダー探査を行い、石垣の背面の構造について、石垣の安定性評価等に必要な諸元の調査を行う。特に築石の控長、栗石幅空洞部等の存在の有無については留意して調査を行う。

(2) 石垣の修理状況確認調査(穴蔵部)

現天守閣再建時の穴蔵部の石垣の修理状況を確認するために、調査項目Eにある再建時の調査を元に、試掘・部分的な取外し等の準備調査を行った上で、必要に応じて石垣を取外し、追加ボーリング調査等を行い地階レベルの石垣の現況を確認する。

上記調査の結果、再建時の修理状況を確認するため、さらなる石垣取外しが必要となった場合は、石垣の平面・断面構造を確認し、調査、記録を行う。

- ・ 調査に伴って、平面図、断面図、個別図等の作成を行う。
- ・ 石垣取外し時には調査員が立会い、石材撤去前後の状況をよく観察し、石材の積み方・合端のチェック・割れやヒビの有無・石材下面の状況、押さえ石などの情報を確認し記録化に努める。また、取外し中に石材間や栗石中からみつかった遺構・遺物等について、適宜記録化を行うものとする。
- ・ 石材取外し時には石材の露出していなかった面についても同様な作業を行う。
- ・ 地階内部部分は石垣の位置等について、昭和実測時との比較検討を行う。

(3) 石材劣化度調査

- ・ 対象の石垣について、石材一石毎の劣化度について目視調査及び打音調査等を行う。調査の方法は『名古屋城天守台石垣健全性評価報告書（平成24年3月）』に準じるものとする。
- ・ 戦災時の被熱等により劣化した石材については、現地調査及び実験等によって石材の強度調査・検討を行う。

G：石垣安定性評価等

(1) 安定性評価

※ 遠心模型実験とFEM(有限要素法解析)を予定。それ以上の調査・実験・シミュレーションについては(3)追加調査にて対応。

- 1 対象の石垣について、築石・栗石・背面盛土の状態、地盤、石垣勾配、測量、石垣現況調査成果などについて検討を行い、総合的に石垣の安定性の検討を行う。手法については、経験的・統計的方法や力学的理論式による方法、数値解析による方法等を用いる。
- 2 石垣の安定性評価においては、常時及び地震時における荷重など、天守台石垣の保存・修復方針を検討するための諸条件について、妥当性の検討を行い、

適切に設定する

- 3 総合的に天守台石垣の安定性を検討するために、各面において実施し、局部的に孕み出しが大きい場合などは追加検討し、断面を適切に設定して行う。

(2) 維持保存方針検討

- 1 本作業における調査結果等を踏まえて、名古屋城天守閣整備事業の設計等を進めるうえでの、天守台石垣の保存・修復方針を検討する。
- 2 保存・修復方針検討においては、文化庁との協議を踏まえて進めることとし、また、天守閣部会、石垣部会及び検討会議において、適宜、学識経験者の意見聴取を行いながら進める。
- 3 現状維持の場合・積み直しの場合、常時荷重・地震時荷重、石垣天端に荷重が作用する場合・作用しない場合等、諸条件を検討する。

(3) 追加調査

調査結果や検討状況を踏まえて、FEM、DEM、実物大モデル振動実験、その他実験・シミュレーション等を協議の上実施する。

H：その他調査・検討

(1) 石材調査

- 1 刻印・墨書については、採拓・実測等の方法により記録を行う。記録化にあたっては、刻印・矢穴等名古屋城石垣に精通した専門家の助言を得る。
- 2 石材産地推定のために岩石名・含有鉱物名などの地質学・岩石学・考古学・文化財学的調査を行い、情報の記録保存・取りまとめを行うまでの作業をいう。
- 3 調査を行った刻印、墨書、矢穴、表面加工、二次利用について、定義に準じた形でデータベースに入力を行う。

(2) 穴蔵部分の埋蔵物調査

(3) 石垣の当初勾配調査

過去の史料による天守台の勾配を数式化し現在の勾配と照合する他、石垣秘伝之書、後藤家文書による勾配の数式等とも照合するなどし、当初勾配についての調査を行う。

※網掛けは名古屋城特有の調査項目

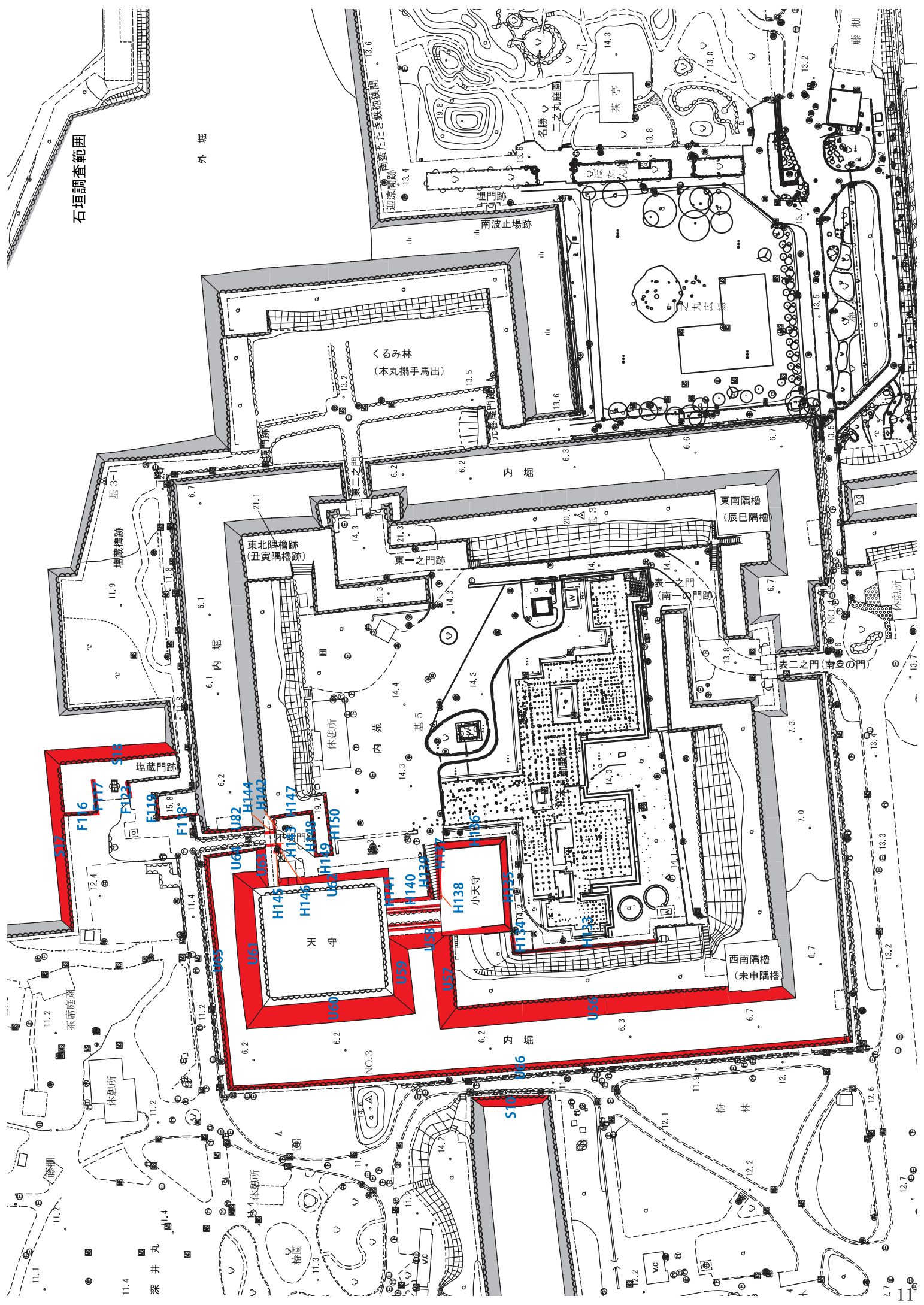
石垣カルテ項目(案)

項目	内容	
管理番号		
曲輪		
石垣の性格	櫓台、曲輪外面など	
方位	面する方位	
立地面	平坦面、斜面、掘底、生活面など	
地盤	立地地盤	
立地状況	社会的環境	
所有者		
管理者		
関係法令		
利用形態		
上部構造物		
現在		
過去		
時期		
分類		
編年		
絵図・古文書		
丁場割図における普請担当大名		
既往の発掘調査・研究		
延長		
高さ		
立面積	平面形状、出角・入角・鎚	右 左
隅角部	稜線	右 左 段数 勾配 反り
	気負い	角石
	石材加工の有無	右 左
	積み方	技法 角脇の形態 技法 角脇の形態
	はさみ石・間詰石	右 左
	石材寸法・控え長	右 左
	石材形状・規格性	右 左
	加工痕跡など	
	石質	
	石材の石質比率	
	刻印の状況	
	矢穴の状況	
	植生状況	
	近代以降の補強(モルタル・鉄筋など)	
	観察事項	角石の形態、角脇石の状態など具体的に
築石部	平面形状	
	立面形状	勾配
	石材加工	左端部 右端部 中央部 石垣が長い場合には10m間隔 櫓台等石垣高に変化がある場合は変換点
	積み方	
	間詰石	反り
	石材寸法	
	石材形状・規格性	
	自然石・割石・加工石	
	加工痕跡など	
	石質	
	石材の石質比率	
	刻印の状況	
	矢穴の状況	
	植生状況	
	近代以降の補強(モルタル・鉄筋など)	
	観察事項	築石の加工など具体的に
破損状況	隅角部	天端
		緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 壁面のへこみ 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 崩れ 樹木 天端・上面の沈下等 その他

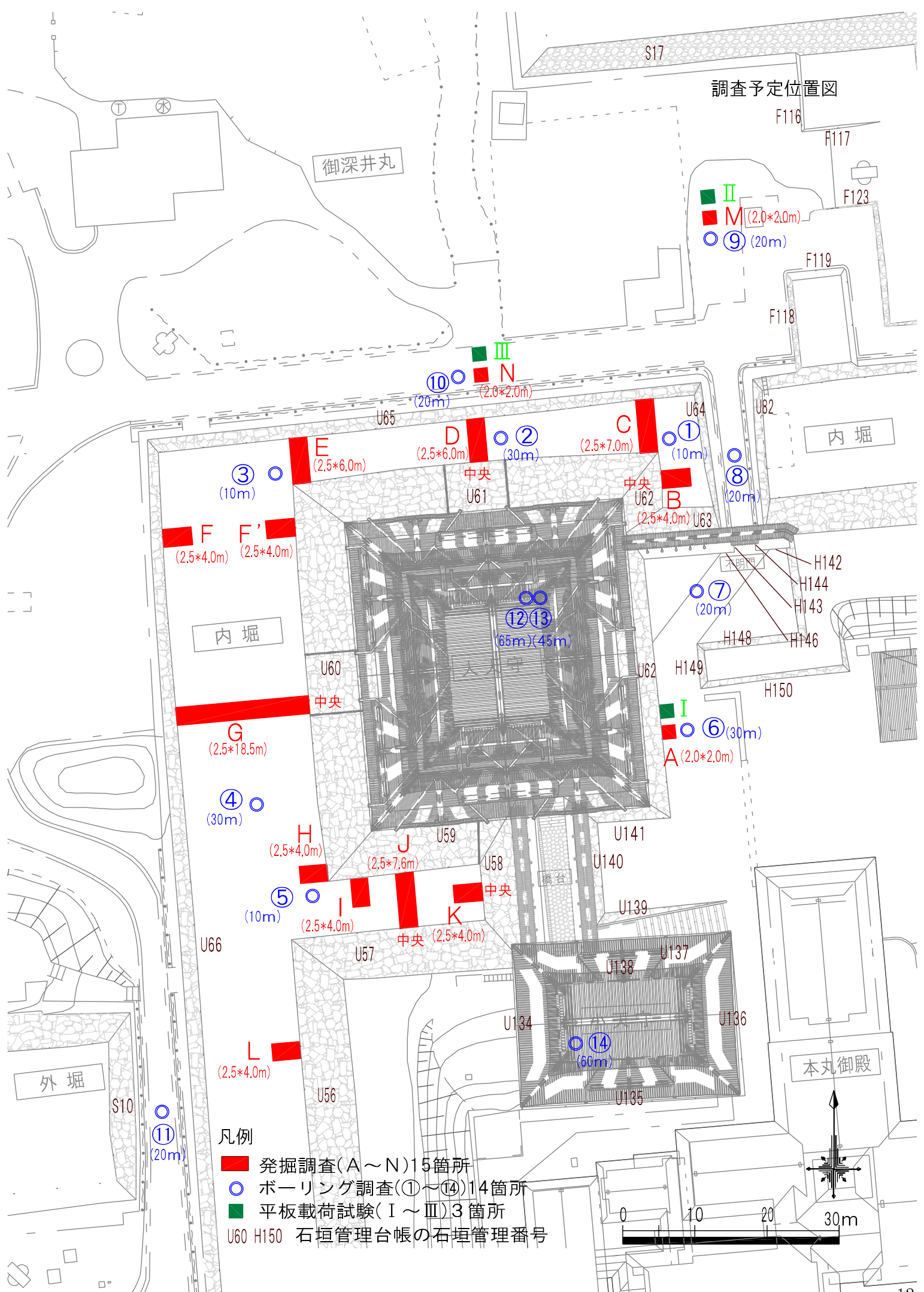
項目	内容	中段
		緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 壁面のへこみ 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 崩れ 樹木 その他
		緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 壁面のへこみ 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 崩れ 樹木 前面土砂の堆積 立地地盤の異常 その他
観察事項 天端 築石部		緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 積み石の乱れ 崩れ 樹木 天端・上面の沈下等 その他 緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 積み石の乱れ 崩れ 樹木 その他
		中段 緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 積み石の乱れ 崩れ 樹木 その他
	変形の観測 危険性	裾部 緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 積み石の乱れ 崩れ 樹木 その他
観察事項 変形の観測 危険性 崩落等の可能性 利用上の危険性 危険度		観察事項 崩落等の可能性 利用上の危険性 危険度
破損要因・特記事項 見取り図・写真 備考		
図面・写真その他	素図 個別主題図 合成図	

石垣調査範囲

外堀



調査予定位置図



凡例

- 発掘調査(A~N)15箇所
 - ボーリング調査(①~⑭)14箇所
 - 平板載荷試験(I~Ⅲ)3箇所
- U60 H150 石垣管理台帳の石垣管理番号

大分類	大項目	小項目	記載内容	備考
概要編 1	1. 復元概要・ 復元整備基本構想	1. 天守復元の意義	(1) 木造天守復元への動き	
			(2) 復元の意義	
			(3) 整備スケジュール	
		2. 歴史的変遷	(1) 歴史	
			(2) 国宝指定	
			(3) 史跡指定	
			(4) 史跡範囲図	
			(5) 名古屋城略年表	
			(6) 名古屋城全体配置図	
		3. 天守復元の考え方	(1) 遺構保護	
			(2) 基本設計方針とその依拠史料	
			(3) 実施に際しての考え方	
			(4) 復元のフローチャート	
		4. 復元時代の設定の概要	(1) 復元時代の設定	
			(2) 年表	
		5. 特別史跡名古屋城跡 整備の取り組み	(1) 現存文化財の保存	
			(2) 天守閣等の再建	
			(3) 基本構想～全体整備計画	
			(4) 整備計画資料リスト	
		6. 特別史跡名古屋城跡 保存活用計画・全体 整備計画	(1) 全体整備計画の概要	
			目的、課題、基本理念	
			保存管理、整備活用	
			整備方針	
			(2) 整備スケジュール	
			(3) 全体配置図	
		7. 復元の規模と周辺整備	(1) 復元の規模	
			(2) 周辺設備の概要(収蔵庫・展示施設含む)	
		8. 活用の考え方	(1) 活用の考え方	
			(2) 想定入場者数とセキュリティ	
			(3) 活用ゾーニング図	

大分類	大項目	小項目	記載内容	備考	
概要編 2	1. 復元詳細の検討	1. 部位別	(1) 間取り		
			(2) 断面		
			(3) 屋根		
			(4) 立面		
			(5) 室内装飾		
			(6) 各部位(破風・井戸・畳敷・仕切り・橋台…)		
		2. 木材	(1) 材種・品質		
			(2) 架構		
			(3) 継手・仕口		
		3. 新機能として付加検討	(1) 構造計画	① 構造設計の方針	
				② 敷地概要	
				③ 基礎構造	
				④ 耐震性能の検討	
			(2) 防災計画・ユニバーサルデザイン		
				① 付加機能の比較	
				② 3つの避難計画の比較	
				③ 仮設避難コアの設置イメージ(案)	
				④ バリアフリー設備	
			(3) 設備計画	① 電気設備計画	
				② 機械設備計画	
			1. 仮設計画	(1) 工程	
				(2) 仮設計画	
				(3) 遺構の保護	
		2. 維持管理計画	(1) 仕様設定と維持保全による長寿命化		
			(2) 日常的・定期的な維持保全の内容		
			(3) 維持管理に必要な設備について		
			(4) 維持管理の体制と費用について		
		3. 施工時の公開方法の 検討	(1) 素屋根内展示施設		
			(2) 情報発信計画		
		4. 現天守閣の記録	(1) 現天守閣の歴史		
(2) 現天守閣の意義					
(3) 現天守閣の図面					

大分類	大項目	小項目	記載内容	備考	
資料編	1. 復元根拠としての採用資料	1. 天守台石垣の検証	(0)天守台石垣の保全について		
			(1)名古屋城天守台石垣の変遷について		
			(2)現在の天守台石垣の状況について		
			(3)天守復元に伴う石垣の課題と方針		
			(4)資料による石垣の補修状況について		
				(5)天守台石垣の現況調査について	
		2. 昭和期実測図及び野帳・調書	(1)昭和実測図の概要		
			(2)昭和実測図一覧		
			(3)昭和実測図の分析		
			(4)作図に関する問題点		
			(5)寸法の分析		
			(6)野帳の分析		
		3. 古写真史料	(1)古写真史料の概要		
			(2)名古屋城天守古写真一覧		
			(3)写真撮影位置プロット図		
			(4)写真一覧		
		4. 絵図史料	(1)指絵図の分析		
			(2)指絵図の検討		
			(3)建築図(詳細図)の検討		
		5. 金城温古録	(1)金城温古録の概要		
			(2)金城温古録の分析		
			(3)金城温古録の検討		
		6. 摺本・拓本	摺本・拓本		
		7. 現存する遺物	(1)焼損金具		
			(2)礎石		
		8. 史料リスト	史料リスト		
		9. 既往の論文	諸先生の論文		

大分類	大項目	小項目	記載内容	備考
図面編	0. 透視図		透視図	
	1. 建築計画	1 関係法規チェックリスト		
		2 全体配置計画	現況図 計画配置図	
		3 平面計画	各階平面図	
		4 立面計画	立面図	
		5 断面計画	断面図	
		6 各室面積表	各室面積表	
			部屋名見取図	
	7 仮設計画	仮設計画		
	2. 構造計画	1 構造計画概要	構造設計の方針・敷地概要	
		2 調査	地盤調査	
		3 診断	構造診断	
		4 補強	構造補強	
	3. 設備計画	1 設備計画概要		
		2 設備計画図	配置図	
			電灯設備図 (各階平面図)	
			自火報設備図(各階平面図)	
			避雷設備図 (屋根伏・立面・詳細図)	
	消火設備図 (各階平面図)			
	4. 工事工程表	工事工程表		
	5. 概算工事費	概算工事費		